

2018/06/16 (土) 10 時より 於：本校多目的室 A

## 平成 30 年度 第 1 回 大阪府立西成高等学校 学校運営協議会

### ○委員一覧

氏名	職名
榎井 縁	大阪大学 特任准教授
北本 義章	大阪市立鶴見橋中学校 校長
小川 謙一	大阪府立西成高校 PTA 会長
高見 一夫	A' ワーク創造館 館長
田中 俊英	Office ドーナツトーク 代表
寺嶋 公典	一般財団法人 ヒューマンライツ協会理事
堂上 勝己	梅南鋼材株式会社 代表取締役
西田 芳正	大阪府立大学 教授

#### 1. 開会

#### 2. 校長挨拶

#### 3. 委員紹介・事務局紹介 → 会長に西田委員、副会長に小川委員を選出

#### 4. 議事

##### (1) 今年度の取り組みについて

学校経営計画の目標について

- ・ SC、CC、SSW、カフェ事業、学校運営協議会といった外部資源をうまく使っていき  
たい。
- ・ 連続学習講座について  
→ さまざまな取り組みについて引継ぎが困難になってきている。そのためにも教職  
員の学習会によって知識技能の伝達をめざす。
- ・ 授業のユニバーサルデザイン化を進める。
- ・ 配慮生の増加。どのように支援していくか。
- ・ 西成教育フェスタを終了して、エンパワメント学習発表会を行う。校内における学習  
内容の継承を目的とする。

- ・中退率を3%以内をしたい。かつて18%→平成29年度7.5%
- ・働き方改革を進めたい。夜19時以降は留守電にすることを検討している。

## (2)生徒の現状について

(進路指導部)

- ・42期生について(エンパワ1期生)  
卒業生145名の内、109名が就職希望。  
その中で学校斡旋就職希望者82名全員が就職。  
現段階で離職7名。辞めた理由は人間関係が多い。
- ・43期生→就職に向けて早い段階から動き始めている。

(学校アンケート)

- ・大正区、此花区、港区から来る生徒が増えた。
- ・実父母と生活している生徒が微増したが、そうでない生徒の割合が依然として多い。
- ・自分のことを理解してくれる人がいるという質問に、「そう思う」「まあそう思う」と答えた生徒が76%。転退学する生徒の背景には、理解してくれる人がいないという感覚があると考えられる。
- ・他者とのつながりの貧困。
- ・相談相手がないと答えた生徒が府平均に比べて2倍以上高い。深刻な状況。
- ・人権学習について、障がい者の人権の学習への満足度が高い。一方、ホームレス等の問題についての学習が今後の課題。

(45期生)

- ・日常の生活体験の乏しい生徒が多い。箸や雑巾の使い方を知らないなど。

—質疑応答、意見交換—

- ・職業体験について、西成地域で今よりも多数提供できるのではないかな。
- ・防災教育への取り組みについて  
人権と防災、人と人とのつながりを意識した切り口も良いのではないかな。(寺嶋委員)  
→地域の方と連携した避難訓練を今後計画している。(朱里教諭)
- ・「学習力」「社会人基礎力」のことばがとてもよい。
- ・キャリア教育について3年間を見通した戦略的なものが必要と考える。(高見委員)  
たとえば「1年社会を知る 2年 社会を実体験 3年 社会とどう繋がるか」  
というようなテーマで考えてみてはどうか。  
→まずコミュニケーション能力が必要な生徒が多くなっている。  
3年間の教育をより良いものにするためのロードマップを作成中(山田校長)

- ・障がいのある生徒をまわりの生徒は知っているのか？(堂上委員)

→教員は知っている。生徒はななま紹介ホームルームでオープンにする生徒もいれば、クローズのままにする生徒もいる。エンパワメントスクールになって本人、保護者とも障がい受容ができていない生徒が増えている。

(鎌田教諭)

- ・企業の中で、障がいをクローズにされると排除される方向に行きかねず、その防止に悩んでいる。

→特別な支援のいる生徒は居場所事業にもつないでいる。障がい者雇用は不利なことばかりではない。(高見委員)

→親の障がい受容のため、理解が必要(小川委員)

学校でも事業者への配慮がいただけるとありがたい。

→学校・事業所・家庭のそれぞれが変わっていくところ、今はその過渡期である。

(山田校長)

- ・自己肯定感向上を個別に進める一方、学校への肯定感を高めることが役に立つのではないかと思う。HPに学校の取り組みをあげる、フェイスブックなどを活用した広報が効果的ではないか。

(小川委員)

→現在、A'ワーク創造館にHPリニューアル依頼中。パンフレットも7月に刷新。個人情報もあり、写真等の出し方の工夫を考えつつ動いている。(山田校長)

- ・PTA新聞7月号に入学式や体育祭の記事が出ているので、もっと即時性があるといい。

・先生方のワークバランスが大切。(小川委員)

・そもそも教員の体制が整っていないことが気になる。

・アンケートについて、実態の分かりやすい集計の工夫の必要性(西田委員)

・朝ごはん…食べていないだけでなく、食べられるのに食べていないのか、そもそも食べられる環境ではないのか、なども分かるように。

・アルバイト…不払い問題などないか。(高見委員)

→アンケートが多すぎる。極力いいアンケートを心がける。(山田校長)

・大阪市立小中の電話 8時から18時(中学は18時半)以外は音声メッセージ

・8月13日から15日 今年は閉庁日にする。(北本委員)

・世代によって常識が変わってきている。(高見委員、堂上委員)

## 5.閉会

—次回以降の予定—

第2回 11月17日(土) 9:30~11:30

第3回 1月26日(土) 10:00~12:00